

議案第 178 号 一般会計補正予算 修正案 趣旨説明

大阪維新の会大阪市議員団を代表して、議案第 178 号一般会計補正予算に対する修正案について趣旨説明をさせていただきます。

今回上程されております補正予算案のうち、統合型リゾート(IR)を契機とした夢洲まちづくり構想検討調査等については、土地利用、臨海部交通アクセス、夢洲埋め立ての各検討調査を実施する内容となっております。

この度提案させていただいております減額修正案については、新たな観光拠点の形成を含んだ夢洲まちづくり構想や、夢洲に IR を立地するか否かの検討を進めるため、夢洲全体の土地利用を見据えた骨格的な交通インフラや、IR の持つメリット・デメリットなどを調査するための必要最低限の事項にとどめるものです。

具体的には、夢洲土地利用検討調査について、夢洲での IR の実現性の検討や波及効果分析等に関する経費、まちづくり構想策定に関する経費の一部は残し、経済戦略事業費を 2,575 万 8 千円減額修正いたします。また、臨海部交通アクセス検討調査及び夢洲埋立検討調査について、鉄道検討調査に関する経費の一部、道路検討調査のうち臨海部交通量調査に関する経費及び臨海部ネットワーク等検討に関する経費の一部は残し、一般都市計画事業費を 200 万円、港湾施設整備事業費を 1,770 万円減額修正いたします。

統合型リゾートを契機とした夢洲まちづくり構想については進出を検討する海外の IR 事業者より「5,000 億円超の投資規模を用意している」との発言もあり、また、民間のシンクタンクの調査では市場規模は約 3,000 億円、来場者数は 1,000 万人との想定がされています。大阪経済活性化の起爆剤として大いに期待されているところでございます。

また、大阪エンターテインメント都市構想推進検討会においては、IR 建設時には 20,149 人、IR 開業後には 61,413 人もの雇用効果が生みだされるとの報告がなされています。

我が会派としては、今後の大阪経済活性化の起爆剤、そして大規模な雇用の創出につながる IR の誘致を円滑に進めるためにも、国の動向に合わせて迅速な対応ができるように、本来であれば、原案通りに補正予算を可決する必要があると考えておりました。

他の自治体の状況を鑑みると、横浜市においては昨年度「IR など新たな戦略的都市づくりのための検討調査」を実施しており、今年度当初予算においても、IR 等の新たな戦略的都市づくりの検討として1千万円。また、候補地である山下埠頭の再開発予算として4億 5,900 万円を計上しています。

長崎県と佐世保市については昨年3月に IR 推進協議会を共同設置して検討を進めてきており、今年3月には「長崎 IR 構想骨子(案)」を発表したところで、その中では、今後、県民の合意形成を図りながら、最終的な構想を策定していく予定になっているなど、具体的に動き出している状況です。

他都市に先んじられることなく、今後、「にぎわいまさる大阪市」として国内外にプレゼンスを発揮していくためにも本補正予算は非常に重要な予算であり、原案通り可決をすべきだと認識しております。

しかしながら、議会の状況を踏まえ、原案通りの可決は困難であり、議決の如何によっては大阪経済の大いなる可能性の道を閉ざしてしまいかねないことを危惧し、将来の大阪のために一歩でも二歩でも前に進めていく必要があるとの判断により、修正案を提出させていただく運びとなりました。

国において IR 推進法の整備がなされた際には、円滑に事業を進めていくための予算可決にご賛同いただきますよう、お願い申し上げます、修正案の提案趣旨説明とさせていただきます。